

## 問題に対する思考力、判断力が合格へのカギ！

令和 5 年度社会の問題構成としては大問①地理、歴史、公民の総合問題（12 点）、大問②日本地理（16 点）、大問③世界地理（15 点）、大問④前近代史（15 点）、大問⑤近現代史（16 点）、大問⑥公民経済分野（10 点）、大問⑦公民政治分野（10 点）、大問⑧現代社会の諸問題の解決（6 点）でした。問題構成は例年通りです。前年と比べると、資料をもとに思考し判断する力を問う問題が多数出題されています。語句の定義が定着しているか問われる問題も増えているため、昨年度よりも難易度が上がったとみられます。

### ～大問 1 地理・歴史・公民の総合問題～

この大問は「ちば文化資産」をテーマに地理、歴史、公民の3分野から出題されています。（1）は 10 年間隔しかない歴史の並び替え問題でした。起きた出来事、政策を順序立てて解くと正解に近づけたと思います。（2）は「ヒートアイランド現象」を答える問題でした。この問題は平成 27 年度前期選抜にも出題されています。（3）は公民経済分野の選択問題です。財政のしくみ、税金がどこに使われているのか理解していると解きやすい問題です。（4）は資料から県名を判別する問題です。各都県の山地面積や、海水浴場の数など資料を併行して読み取る必要があります。よく似た特徴を持つ千葉県と埼玉県を判別することに苦労する問題でした。

### ～大問 2 日本地理～

この大問は地理分野の中で日本地理に関する問題が出題されています。（1）は都道府県を答える問題でした。文章から答えである「静岡県」の気候や産業の特徴を読み取れることができれば、比較的簡単な問題です。（2）は「東京都の防災施設」に関する選択問題です。写真から読み取り考えることが大切です。（3）は京都府の街づくりについての記述問題です。京都の街並みについての知識も大切ですが、指定された語句で答えられるよう練習しておくことがとても大切です。（4）例年と同じく地形図の読み取り問題です。①は内容が誤っているものを選択する問題で、方位、地図記号、等高線を正確に読み取ると解くことができます。②は 1：25000 の地図のとき、主曲線が 10m ごとになると分かっていると判断ができます。

### ～大問 3 世界地理～

この大問は地理分野の中で世界地理に関する問題が出題されています。（1）は地図上の経線、緯線についての問題です。赤道がどこの国を通っているのか、普段から地図に触れて問題を解いていると解きやすいです。（2）は時差を利用した問題です。2 つの文章と世界地図を一緒に見ながら解くとわかりやすいです。（3）アメリカ合衆国の農業に関する選択問題です。北アメリカの自然環境とそこで作られる農作物を合わせて覚えられると比較的簡単です。（4）オーストラリアの国旗についての問題です。イギリスの国旗が分かると比較的簡単な問題です。（5）は資料の読み取り問題です。選択肢の内容と資料を照らし合わせて読むことができれば解ける問題です。時間がかかる問題ではありますが、点数を落としたいくない問題の一つです。

## ～大問 4 前近代史～

この大問では歴史分野の前近代史が出題されています。(1)は弥生時代中期についての選択問題です。前年に続き、当時の海外の歴史について問われているので「日本が〇〇時代の時、ヨーロッパでは…だ」と整理できていないと難しかったです。(2)は聖武天皇の政策を答える問題です。答えは「口分田」ですが、「墾田永年私財法」が何か理解していなければ答えることができないので政策の内容は正確に覚えましょう。(3)は鎌倉時代に関する並べ替え問題です。選択肢にある人物名、出来事から考えると解くことができます。(4)は江戸時代の改革についての選択問題です。改革の名前とその中心人物がだれか正確に覚えていないと難しい問題です。(5)江戸時代の海外との交流についての選択問題です。文章中の地名と日本地図を照らし合わせて覚えていると解きやすい問題です。

## ～大問 5 近現代史～

この大問では歴史分野の近現代史が出題されています。(1)は当時の使節団に関する選択問題です。「岩倉具視」はわかる方も多かったと思いますが、「津田梅子」は難しかったと思われます。「津田梅子」のように千葉県にゆかりのある人物は過去にも何度か出題されているので覚えておきましょう。(2)は特定の期間内に起きたことがらを答える並べ替え問題です。約20年の出来事での並べ替えということもあり、当時の戦争や日本の対外関係を理解していないと難しい問題です。(3)は第一次世界大戦あたりの歴史についての記述問題です。当時開かれた会議名とその内容について両方答えられないと得点できないので、難しい問題です。(4)は満州事変についての記述問題です。語句の「元首」の意味と誰を表しているのか理解していなければ相当難しい問題です。正答率もかなり低いと思われます。(5)は1970年代の出来事に関する選択問題です。「万国博覧会」が開催された場所について問われていますが、2025年に開催されることから普段からニュースなどを見ているかも問われています。

## ～大問 6 公民経済分野～

この大問では公民の経済分野が出題されています。(1)は消費者保護に関する選択問題です。選択肢の法律や制度はもちろん大切ですが、その一つひとつが何か説明できるレベルまで覚えられると良いです。(2)は金融の仕組みについての記述問題です。教科書にその仕組みについてイラストや図が掲載されていますが、図だけを見ると「間接金融」と勘違いするかもしれません。それぞれの具体例まで把握すると良いでしょう。(3)は資料の読み取り問題です。前年と同様に会話文とグラフデータを併行して読み取る必要があるので、整理しながら読まなければ難しい問題です。

## ～大問 7 公民政治分野～

この大問では公民の政治分野から出題されています。(1)は人権思想に関する選択問題です。人権思想の歴史については当時の宣言や憲法、レポートの一部から時代背景を読み取りながら解かなければならないので難しい問題です。(2)は知る権利に関する記述問題です。漢字指定で問われているので、普段から漢字で書かれている語句は練習しましょう。(3)は特別国会についての記述問題です。指定された字数がこれまでと比べて増えたことで難しく感じると思います。ですが、国会の種類や召集される理由を整理して覚えることが出来れば解くことができます。

## ～大問8 現代社会の諸問題の解決～

この大問は「地域主義（地域統合）」に関する内容が出題されています。（１）は４つの地域統合組織がどの地域のもか選択する問題です。「ASEAN」など分かりやすいものもありましたが、「USMCA」のように近年成立したものを含めているため完答するのは難しかったです。（２）は記述問題です。答えとなる「TPP」について「太平洋」「アメリカ合衆国が離脱」など文章からヒントとなるものを抜き出し、想起することで初めて点数につながるので難しい問題です。問題文の「経済的な連携」から考えることができると解けるでしょう。



千葉県公立入試社会の問題は総合力が求められます。暗記した用語を活かし様々な応用問題が出題されます。語句一つを覚えてただけで解けるという問題はほとんどありませんので、一つの知識に対し他の語句と結び付けて覚えるようにしていきましょう。また覚える量も多く時間もかかるため、早めに対策を始めることが重要だということを知ってください。また、今年度の歴史では新貨幣の肖像画となる人物や大阪万国博覧会など時事問題をテーマにした問題も出題されていたため、5～10分程度でもよいので新聞やニュースを見て多くの情報を取り入れましょう。入試での面接対策にもつながります。

正学館では社会を受講する生徒には多くの知識と即座の判断力を養ってもらうため、夏期講習では多くの知識習得を目標に、地理・歴史を講師が解説しながら授業を行います。毎回の授業の宿題で地理・歴史の語句を覚えてきてもらい、次の授業の初めに小テストを実施することで定着しているか確認します。また各単元の基本的な用語を中心に学習できるSTメソッド（確認テスト学習システム）を活用することで補強することも可能です。秋からは公民の授業を実施しつつ、冬期講習では実際の過去問を使って知識の確認と補填を行います。入試直前には正学館独自の予想問題演習を実施し、最終チェックを行います。

このように正学館では合格に必要な点数を取るための様々なプログラムを実施するため、社会が苦手な受験生も高得点を取ることができます。「最後の一分一秒」まであきらめずに一緒に頑張りましょう！

